

③項目別実感度と重要度

■重要度と実感度を尺度とした二次元マップ

各分野ごとの詳細な項目の実感度と重要度のアンケート結果をまとめたものは、以下のとおりとなっています。縦軸は**実感度(満足度)**であり、横軸は**重要度**となっています。図の右下(黄色)に位置する項目は重要度が高いですが、実感度が低いため優先順位が高い項目となっています。なお、カッコ内の**青字**は、クロス集計結果となっています。今後は、「資源を集中させて注力すべき分野」に挙げられている事項については、今後重点的に取り組む必要があると考えています。

■集計方法

実感度及び順位における平均点の算出方法については、下表に示すように項目の各選択肢に点数を付け、回答者数を乗じたものの合計値を全体の回答者数で除して算出した。ただし、「わからない」「無回答」の回答者については対象から除外した。

【1】実感度	点数	【2】重要度(順位)	点数
大いに感じる	6点	1位	10点
少し感じる	5点	2位	9点
どちらでもない	4点	3位	8点
あまり感じない	3点		
全く感じない	2点		
分からない	1点		

強み	重要度が低い、実感度は高い (①そのままでも大丈夫な分野)	強み	重要度が高く、実感度も高い (②そのままでも大丈夫な分野)	
弱み	重要度が低く、実感度も低い (③撤退や見直し分野)		弱み	重要度が高い、実感度は低い (④資源を集中させて注力すべき分野)



※子育て世代での評価が低いわけではないが、高齢者が多い母集団のため、身近でない子育て関係の重要度も実感度も低くなる傾向となる

■第6次鳩山町総合計画作成にあたりワークショップを開催予定しています

町では、第6次鳩山町総合計画(まち・ひと・しごと創生総合戦略を含む)の作成にあたり、この度の意識調査結果の内容を踏まえると共に、町民の皆さんの声を直接反映させるため、ワーク

ショップの開催を予定しています。日程、会場等詳細は、今後、広報はとやま町のホームページ等でお知らせいたします。

■問合せ 役場政策財政課 ☎296-1212

町では、「第6次総合計画」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「都市計画マスタープラン」の策定にあたり、町民の意識、幸福度、ニーズを把握することを目的としたアンケート調査を実施しました。今月号ではその調査概要について報告します。なお、調査結果の詳細は、町ホームページで公開しています。

◆問合せ 役場政策財政課 ☎296-1212

①幸福度について

約7割の町民の方が、「今幸せだと感じている」と回答



回答者の地区と年齢を交えたクロス集計を行ったところ、今幸せと「少し感じる+大いに感じる」と感じた方は、地区別では鳩ヶ丘(76.5%)、楓ヶ丘(74.4%)、大豆戸(73.1%)の順に高く、年齢別では年齢が上の方がより幸せを感じている傾向がありました。

②分野別実感度と今後幸せと感ずるために重要な分野

1位が「環境」2位が「健康・福祉」3位が「安全・安心」

項目	【1】実感度							平均	順位
	大いに感じる	少し感じる	どちらでもない	あまり感じない	全く感じない	分からない	不明		
(7) 総合的に暮らしやすい生活環境だと	177	419	157	86	21	3	102	4.74	1位
(16) 総合的に健康的な生活が送れていると	183	434	163	89	22	0	106	4.67	2位
(24) 総合的に安全・安心だと	150	395	182	71	9	17	149	4.52	3位
(32) 総合的に子どもが健やかに成長していると	114	405	215	65	8	38	120	3.84	5位
(41) 総合的によいまちづくりだと	88	256	188	44	0	166	252	3.84	4位
(48) 総合的に、文化やふれあいがある充実していると	34	255	254	149	26	89	147	3.57	7位
(55) 総合的に、経済的な不安なく便利な生活だと	35	178	242	204	64	87	189	3.17	6位

(上段：回答数 下段：%)

実感度が高い順	今後あなたが幸せと感ずるために重要な順
1. 暮らしやすい生活環境	1. 環境
2. 健康的な生活	2. 健康・福祉
3. 安全・安心	3. 安全・安心
※1~3の実感度は高い。	※1~3の支持率が高い。 ※最も重要との回答の第1位は健康・福祉。
4. よいまちづくり	4. 土地利用・まちづくり
5. 子供が健やかに成長	5. 教育・子育て
6. 経済的な不安なく、便利な生活	6. 産業・労働・活力
7. 文化やふれあいがある	7. 文化・人権

上位となった分野については町の強みであり、そのまま伸ばしていきます。また、「土地利用・まちづくり」、「教育・子育て」、「産業・労働・活力」、「文化・人権」に関しては、弱点強化のため、重点的に取り組む必要があることがわかりました。

「総合計画・都市計画マスタープラン」の概要を報告します

○町民意識調査の概要

■調査対象：令和2年12月1日現在、18歳以上90歳未満の無作為抽出された町民2,000人

■調査時期：令和2年12月22日～令和3年2月18日

■有効回収数 965 (総人口13,470人の7.16%) (回収率48.25%) (調査の信頼レベル95%、誤差1.6% [一般的な調査は信頼レベル95%、誤差5%で行われます])

○アンケートの回答者について

■回答者の年齢層：10～30代12.3%、40～50代18.3%、60代以上68.4%、不明1.0%